

## 教学上の特例に関する基本方針

令和6年8月9日  
学校法人常翔学園

### 1. 法人が設置する大学名

大阪工業大学、広島国際大学

### 2. 法人内において、法人が設置する2以上の大学による連携した教育研究活動の実施を中核となつて行う者に関する事項

法人内に設置の学校間連携教育推進委員会が中心となり、当該委員会内に置く「大阪工業大学・広島国際大学間連携教育推進部会」において、教学上の特例を活用する大学間の調整や新たな連携教育に関する企画立案を行う。

### 3. 当該2以上の大学における連携開設科目の開設又は共同教育課程の編成の継続的かつ安定的な実施のため必要な事項

#### (1) 連携開設科目の内容・目標

大阪工業大学工学部生命工学科において広島国際大学保健医療学部医療技術学科臨床工学専攻の専門教育科目を「連携開設科目」として活用することで、臨床工学技士国家試験の受験資格が取得できるカリキュラムを構築し、高度化した医療機器を効果的かつ精密に使いこなす工学と医療の両方の知識・スキルを兼ね備えた高い専門性を持つ人材を育成する。

#### (2) 連携開設科目の継続的かつ安定的な実施のために行う事項

学校間連携教育推進委員会内に置く「大阪工業大学・広島国際大学間連携教育推進部会」は両大学における連携開設科目の実施責任者等である教職員で構成し、当該部会において定期的に連携教育に関する協議や企画立案を行う。また、ここで企画立案された事項は、学校間連携教育推進委員会で審議・決定した上で、両大学の教授会の審議・承認を経て実施する仕組みとする。

### 4. 大学の役割分担に関する事項

複数大学を有する本法人の特色を最大限に活用し、各大学の強みを他の設置大学に対しても提供していくことで、各大学の目指す人材育成の強化を図る。

具体的には、広島国際大学は、1998年の開設以来約1,200人を超える臨床工学技士を輩出した確かな実績に裏付けられた教育カリキュラム、教育ノウハウおよび高度医療機器を用いた実習機会を提供する。

大阪工業大学工学部生命工学科は、工学の学士に相応しい能力を涵養しつつ、これらの提供を受け、ゼミ等を通じた日々の学修状況把握など、きめ細かな学修サポートに注力し、先の人材を育成する。